

**CASBEE-広島 (2010年ver.1)**  
**宗教法人神慈秀明会 (仮称)広島支部新館**

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>2.6</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.0</b>	0.23		-			<b>2.0</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>2.0</b>	1.00		-			
1 暗騒音レベル		2.0	1.00		-			
2 騒音レベル					-			
<b>1.2 遮音</b>					-			
1 開口部遮音性能					-			
2 界壁遮音性能					-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-			
<b>1.3 吸音</b>					-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.2</b>	0.44		-			<b>2.2</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>2.3</b>	0.50		-			
1 室温設定		3.0	0.50		-			
2 室温変動の抑制					-			
3 外皮性能		3.0	0.17		-			
4 ゾーン別制御性		1.0	0.33		-			
5 室温変動の抑制					-			
6 室温変動の抑制					-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20		-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>3.0</b>	0.30		-			
<b>3 光・視環境</b>					-			-
<b>3.1 屋光利用</b>					-			
1 屋光率					-			
2 方位別開口					-			
3 屋光利用設備					-			
<b>3.2 グレア対策</b>					-			
1 グレアの抑制					-			
2 屋光制御					-			
<b>3.3 照度</b>					-			
1 照度					-			
2 照度					-			
<b>3.4 照明制御</b>					-			
<b>4 空気質環境</b>	F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に使用、必要量の1.4倍の換気量	<b>3.5</b>	0.33		-			<b>3.5</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.50		-			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に使用	4.0	1.00		-			
2 化学汚染物質					-			
3 化学汚染物質					-			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.30		-			
1 換気量	必要量の1.4倍の換気量	5.0	0.50		-			
2 自然換気性能					-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50		-			
4 換気設備					-			
<b>4.3 運用管理</b>		<b>3.0</b>	0.20		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50		-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-			
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>		-			<b>2.7</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.3</b>	0.40		-			<b>2.3</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>1.0</b>	0.40		-			
1 広さ・収納性					-			
2 高度情報通信設備対応					-			
3 バリアフリー計画		1.0	1.00		-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.0</b>	0.30		-			
1 広さ感・景観					-			
2 リフレッシュスペース					-			
3 内装計画		3.0	1.00		-			
<b>1.3 維持管理</b>		<b>3.5</b>	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保	局所の掃除用流しを設置	4.0	0.50		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.31		-			<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>2.8</b>	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上にC以上を採用	4.0	0.15		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-			

2.3 信頼性								
2.4 信頼性			3.2	0.19				
1	空調・換気設備		3.0	0.20				
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20				
3	電気設備		3.0	0.20				
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20				
5	通信・情報設備	光ケーブルの導入、浸水の危険性がない	4.0	0.20				
3 対応性・更新性			3.1	0.29				3.1
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31				
1	階高のゆとり		3.0	-				
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.23	4.0	1.00				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31				
3.3 設備の更新性			2.6	0.38				
1	空調配管の更新性		2.0	0.17				
2	給排水管の更新性		2.0	0.17				
3	電気配線の更新性		3.0	0.11				
4	通信配線の更新性		3.0	0.11				
5	設備機器の更新性		3.0	0.22				
6	バックアップスペース		3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30				2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30				3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-				3.3
LR1 エネルギー			-	0.40				3.7
1 建物の熱負荷抑制		省エネルギーの配慮	5.0	0.30				5.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20				3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用		地中熱の利用	4.0	0.50				
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50				
3 設備システムの高効率化		ERR=0	3.1	0.30				3.1
4 効率的運用			3.0	0.20				3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50				
4.2 運用管理体制			3.0	0.50				
LR2 資源・マテリアル			-	0.30				2.9
1 水資源保護			3.4	0.15				3.4
1.1 節水		節水器具の採用	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60				
1.2.1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67				
1.2.2 雑排水再利システム導入の有無			3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.63				2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20				
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		造作材に集成材を使用。	3.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68				
3.2.1 消火剤		ハロン消火剤を使用していない	4.0	0.33				
3.2.2 断熱材			2.0	0.33				
3.2.3 冷媒			3.0	0.33				
LR3 敷地外環境			-	0.30				3.0
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出量が少ない	4.0	0.33				4.0
2 地域環境への配慮			2.2	0.33				2.2
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.25				
2.3.1 雨水排水負荷低減			-	-				
2.3.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33				
2.3.3 交通負荷抑制			2.0	0.33				
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.33				
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
3.1.1 騒音			3.0	1.00				
3.1.2 振動			-	-				
3.1.3 悪臭			-	-				
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40				
3.2.1 風害の抑制			3.0	0.70				
3.2.2 日照阻害の抑制			3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			3.0	0.20				
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70				
3.3.2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30				